

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより平成24年7月30日発行



8月の主な行事予定

8月 8日(水)～9日(木)

人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会(とりぎん文化会館 他)

8月23日(木)

中部地区社会教育担当者会(北栄町役場)

8月29日(水)

中部地区人権教育懇談会(教育行政対象)(倉吉体育文化会館)

突撃取材！ 東部地区社会教育関係者研修会

平成24年6月27日(水)に東部総合事務所で開催された鳥取県社会教育協議会主催「東部地区社会教育関係者研修会」の講演の様子をレポートします。

講演「これからの公民館の役割」 ～学校と公民館・地域とのつながりを密にしながら～

倉吉市成徳公民館 小谷次雄館長 赤本充子主事

(1) 「つどう・まなぶ・つなぐ」を求めて(小谷館長)

住民のみなさんに公民館の存在感を感じて欲しいと常々考えている。そのためにも成徳公民館では、主催事業にこだわっている。アンケート等で住民のニーズ把握はしているが、館長、主事がやりたいこと、やらなくてはいけないと感じていることをやる必要がある。

子どもたちを中心とした体験活動にも力を入れている。体験活動における感動の感じ方は各々かもしれない。しかし、感動がなければ体験活動とは言えないと考え、様々に取り組んでいる。

成徳地区は高齢化率35%で独居老人も多く、少子高齢化が進んでいる。そうした地域の現状、課題をくみ取った事業を実施できるよう工夫している。

学社融合といった言葉がよく使われる。しかし、実際には学校は閉ざされていると思う。自分は教員出身であ



り、もっと容易に取り組ができると思っていたが、いまの取組に至るまでたいへん時間がかかった。校長の社会教育への理解が大事だと痛感している。

「少にして学べば、則ち壯にして為すこと有り。壯にして学べば、則ち老いて衰へず。老いて学べば、則ち死して朽ちず。」という幕末の儒学者佐藤一斎の言葉がある。社会教育の重要性をよく表した言葉だと思う。

(2) 実践事例について (赤本主事)

学校との連携では、PTAとの連携にも力を入れている。PTA学年部と担任の先生に運営委員として加わってもらい「成徳マナビィ」という体験活動を実施している。PTAと連携して感じるのは準備と話し合いの大切さ。PTAの希望などをくみ取りながら事業を実施している。

少子高齢化に関する地域課題について、館長からも説明があった。成徳公民館では、高齢者と学校の連携に挑戦している。

「独居老人になると、話し相手もなく声を出すこともない。」といった現状を地域の方から聞いた。そこで、学校の音楽の授業に高齢者が参加し、子どもたちと一緒に歌うという取組に学校の協力をいただいた。最初は、学校からの抵抗を感じたが、調整を重ねて実現できた。子どもも孫も小学校を卒業し、既に学校との関わりが無くなってしまった高齢者から「久しぶりに学校に行けて良かった。」といった声もあった。

小学校では、少子化も進んでいることから空き教室もある。先の事業を足がかりに昼休憩に一室借りて子どもと高齢者がふれあう『学校へいこう!』という事業を企画した。高齢者が、昼休憩中に囲碁や将棋、昔遊びを教えている。子どもは元気なので晴れた日には外で元気にあそんでいるが、雨の日などはたいへん賑わっている。

こうして、学校との関わりを継続していたところ、担任の先生から直接ゲストティーチャーのお願いがあった。成徳地区のいまとは違う昔の祭りの様子を語ってほしいとの依頼であった。普段から学校に出入りしている高齢者の方をお願いしたので、負担に感じることなく、気軽に受けていただけたように思う。

最後に、成徳公民館では、主催事業を行うときには、目的と対象を明確にすることを心がけている。人を集めるだけの講座にならないように、学びの場となる講座とするためにこれからも頑張りたい。



学びの場となる講座をめざしています。

演習「とっとり子育て親育ちプログラム体験」

鳥取県教育委員会事務局 家庭・地域教育課 松本洋介係長

とっとり子育て親育ちプログラムについて説明された後、そのプログラムの1つ「我が家のルールベスト3」を体験しました。



地域ぐるみで子どもを育む

予告「中部地区社会教育関係者研修会」

平成24年9月4日（火）午後1時30分から北栄町北条農村環境改善センターを会場として、中部地区社会教育関係者研修会を開催します。

この研修会は、鳥取県社会教育協議会の主催ですが、研修内容は、中部地区の社会教育担当者が企画・運営します。

「青少年育成」をテーマに実践発表では、「誰とどんな団体と協力したか」また、「なぜ、その方、その団体と協力しようと思ったのか」「協力して、どんな効果が生まれたか」を3人の実践者に話していただく予定です。

青少年育成を地域ぐるみでやっていくには、どうすればいいのか、考える機会となる研修を目指しています。興味のある方は、中部教育局 大本までお申し込みください。

中部地区社会教育関係者研修会

地域ぐるみで子どもを育む

日時 平成24年 9月4日(火) 13:30~16:10

会場 北栄町北条農村環境改善センター (東伯郡北栄町園井7-1)

対象 社会教育関係者等



実践発表

学校と地域で育む

「アイラブ西郷」

倉吉市西郷公民館 館長 牧野 紀史さん

公民館ボランティアとつないで育む

「地域と小学校とのつながり」～チャレンジ古布庄の取り組みを通じて～

琴浦町古布庄地区公民館 公民館主事 御古 知里さん

保護者と地域の方を巻き込んで育む

「放課後子ども教室ながせキッズクラブの取り組み」

ながせキッズクラブ 代表 松原 厚子さん

ワークショップ

「ふるさとを愛する子どもを育む地域づくりを考える」

ファシリテータ 湯梨浜町教育委員会 生涯学習・人権推進課 阪口亜矢子 主事

問合せ先 鳥取県教育委員会事務局中部教育局 社会教育担当 電話 0858-23-3253 FAX 0858-23-5203
主催 鳥取県社会教育協議会
共催 中部地区社会教育担当者会、鳥取県教育委員会

社会教育活動交付金事業

東伯郡社会教育協議会では、社会教育活動の充実を期待して、社会教育活動に取り組みたいが原資がないという意欲ある団体を対象とした交付金事業を始めました。

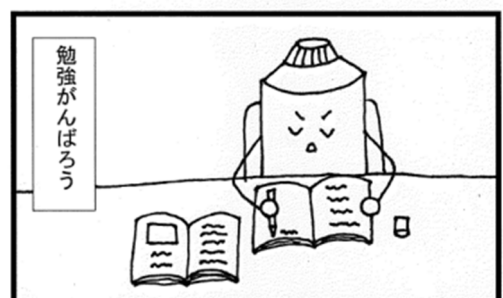
希望される団体がありましたら、本事業を御紹介ください。

事業概要は、下記のとおりです。詳細は、東伯郡社会教育協議会事務局 中部教育局 社会教育担当 大本までお尋ねください。要項等を送付させていただきます。

交付対象事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会教育に関する講演会、フォーラム等の開催 2 体験活動研修事業 3 スポーツ、レクリエーション事業 4 社会教育指導者に対する研修事業 5 その他東伯郡の社会教育活動の充実に資する事業
交付要件	東伯郡社会教育活動団体による事業で参加者が、おおむね15人を超えるもの
交付額	30,000円以内
交付団体数	4団体
用語の定義	東伯郡社会教育活動団体 東伯郡を拠点として、町と町、または市と町をまたがって、地域住民の理解と連帯の上に立ち、特定の思想、宗教、政治団体に属さず、民主的に運営されている組織をいう



ちゅうぶくん



【あしがき】

暑い日が続いています。社会教育関係者研修会も負けず暑い研修会にしたいと思っています。

とはいうものの、夏は、社会教育、人権教育、社会体育とも体験活動や視察などの研修を組まれている所属も多いと思います。熱中症には気をつけましょう。(大本)

中部教育局
社会教育担当

電話 0858 (23) 3253

FAX 0858 (23) 5203

E-mail daimotoy@pref.tottori.jp